

場所を表す指示代名詞と方位詞のまとめ

○場所を表す指示代名詞

「我、你、他/她」などの人称代名詞や「这/那/哪、这个/那个/哪个」などの指示代名詞は既に学習してきましたが、ここでは場所を表す指示代名詞を学習していきます。

这儿 (zhèr) 这里 (zhè lǐ)	那儿 (nàr) 那里 (nà lǐ)	哪儿 (nǎr) 哪里 (nǎ lǐ)
ここ/そこ	そこ/あそこ	どこ

* 「这儿/这里」 / 「那儿/那里」 / 「哪儿/哪里」 はただ地域によって使用頻度などが異なるだけで、意味は全く同じですのでどちらを使っても大丈夫です。

* 「这里/那里」 のどちらにも「それ」の意味があることに気づいたでしょうか？実は中国語では対象から「近い」か「遠い」かの2択でしか表現されないため、近いときは「这儿/这里」、遠いときは「那儿/那里」を使います。ですのでその近さ/文脈によってどちらも「そこ」と訳す事が可能です。

●名詞の場所化（指示代名詞）

これは面白い使い方なので是非覚えておいて欲しいのですが、この場所を表す指示代名詞を人を表す名詞の後ろにそのままくっつけると「～のところ」と人を場所化する事ができます。例えば「我这里～=私のところ」「妈妈那儿～=母のとこと」などがそれです。

例1	她决不会站到我们这边来。 彼女は絶対に私たちの所に来て立つことはない。
例2	他们那儿还是原样子，没有什么变化。 彼らのあたりはやはり元のままで、何の変化もない。
例3	她在我们这儿挺出名。 彼女は我々の間ではとても有名だ。

* 「哪儿/哪里」にはこの用法はおそらくありません。（あったら教えてください）



○方位詞とは

方位詞とは「上、下、中、東、西」などの方位を表す言葉のことです。中国語の方位詞は全部で13個の単純方位詞があり、そこに「边、面、头」などがくっついた合成方位詞があります。全て重要なので取りこぼしをせずに全部覚えましょう。

単純方位詞	合成方位詞		
上 shàng	上边 (儿) shàng bian (er)	上面 (儿) shàng mian (er)	上头 (儿) shàng tou (er)
下 xià	下边 (儿) xià bian (er)	下面 (儿) xià mian (er)	下头 (儿) xià tou (er)
左 zuǒ	左边 (儿) zuǒ bian (er)	左面 (儿) zuǒ mian (er)	なし
右 yòu	右边 (儿) yòu bian (er)	右面 (儿) yòu mian (er)	なし
前 qián	前边 (儿) qián bian (er)	前面 (儿) qián mian (er)	前头 (儿) qián tou (er)
后 hòu	后边 (儿) hòu bian (er)	后面 (儿) hòu mian (er)	后头 (儿) hòu tou (er)
里 lǐ	里边 (儿) lǐ bian (er)	里面 (儿) lǐ mian (er)	里头 (儿) lǐ tou (er)
外 wài	外边 (儿) wài bian (er)	外面 (儿) wài mian (er)	外头 (儿) wài tou (er)
东 dōng	东边 (儿) dōng bian (er)	东面 (儿) dōng mian (er)	なし
西 xī	西边 (儿) xī bian (er)	西面 (儿) xī mian (er)	なし
北 běi	北边 (儿) běi bian (er)	北面 (儿) běi mian (er)	なし
南 nán	南边 (儿) nán bian (er)	南面 (儿) nán mian (er)	なし
旁 páng	旁边 (儿) páng bian (er)	なし	なし

*上から「上、下、左、右、前、後ろ、中、外、東、西、北、南、傍ら/そば」です。

*合成方位詞は“边”“面”“头”の部分は轻声になりますが、唯一「旁边 (儿)」だけは轻声では無く一声で発音されます。(表参照)

*「边、面、头」などは地域差によって使用頻度が異なるだけで文法上の使用法は同じです。
(*意味は多少変わるようですが初学者はあまり意識する必要はないと思います。)

○単純方位詞と合成方位詞の使い方

単純方位詞と合成方位詞ではその使われ方が大きく異なります。以下の表を見てください。

単純方位詞	合成方位詞
単独使用は基本不可	単独使用可能
主語 ✕ 目的語 ✕ 連体修飾語 ✕	主語◎ 目的語◎ 連体修飾語◎
例 前有一辆汽车。 ✕ 我的书在桌子的下。 ✕ 里的东西是我的。 ✕	例 前边有一辆汽车。 ◎ 我的书在桌子的下边儿。 ◎ 里面的东西是我的。 ◎
<p>*一部の慣用句や語句の中には単純方位詞をそのまま使うケースもあります。 「上不着天，下不着地」など</p> <p>*一部の介詞フレーズでもそのまま使うケースがあります。 「往前走」など</p>	

この表だけで見ると単純方位詞は制約が多いため、基本的には合成方位詞の方を使うことがわかります。例えば「中にある」「外は寒い」「～の東に」などは全て合成方位詞を使います。

ではそれを踏まえて例をいくつか見てみましょう。（“儿”化はお好みで）

上边儿，下边儿	上边的钱包是我的，下边的是你的吧。（=連体修飾） 上の財布は僕ので、下のは君のだろ。
里面儿	里面儿没有什么东西。（=主語） 中には何も無い。
东边儿	太阳每天从东边升起是理所当然的。（=介詞） 太陽が毎日東から昇るのは至極当たり前のことだ。
后面儿	后面儿来了一个人。（=主語の位置） 後ろから人が来た。
北边儿，南边儿	北边儿有很多便利店，南边儿什么都没有。（=主語） 北側にはコンビニがたくさんあるが、南側には何も無い。
旁边儿	我坐在他的旁边。（目的語） 私は彼のそばに座ります。

●名詞の場所化（方位詞“上”と“里”）

名詞の場所化とは本来場所の意味をもたない名詞に「上/里」などをつけることによって場所として扱えるようにすることです。この現象は主に「在+場所」を使った表現と使用します。

具体的にまずは例文を確認しましょう。

例1	冰箱里没有什么吃的东西。 冷蔵庫には何も食べるものがない。
例2	我把钱包放在桌子上。 私は財布を机の上においた。
例3	背包里有很多课本。 リュックサックの中にはたくさん教科書が入っている。

「冰箱＝冷蔵庫」「桌子＝机」「背包＝リュック」などは元から場所を示す名詞ではなく、単に物を指す名詞です。日本語では「冷蔵庫には～」「机に～」「リュックには～」など「～の中/～の上」を入れなくてもいいですが中国語はそういう風にはいきません。

中国語では場所ではない名詞を場所として扱いたい場合は「上/里」などをつけて場所化させてあげることが必要です。＊発音は轻声で読めます。

使い方は場所化したい名詞の直後の「上/里」をつけるだけです。
＊ちなみに「上」は上～というよりかは～の表面という意味です。

◎場所化できないものと場所化してもしなくても良いもの

では、何でもかんでも場所化しておけばOKかということと案外そうでもありません。主に以下のような3種類があります。

里/上：つけちゃダメ	日本, 中国, 門口, 隔壁など	→元から場所を示す
里/上：必要	床, 桌子, 椅子, 冰箱, 屋子, 房子など	→場所を示さない
里/上：どっちでも良い	家, 学校, 办公室, 教师, 公司, 图书馆など	→物/場所両方示す

＊「屋子（部屋）/房子（家屋）」は一見最後のどっちでも良いに分別されそうですがそうではないようです。場所として使う際は注意しましょう。